知ってほしい リーダー研修の裏側

第39回広川町子ども会リーダー研修会（テーマ：愛～みんなに39（サンキュー）～）

広川町の夏の恒例行事である、2泊3日の「子ども会リーダー研修会」（通称：リー研）。当日を迎えるまでには、高校生や中学生ボランティアのたゆみない努力・ドラマがある。普段は知ることのできない、その「裏側」に焦点を当てる。

裏でリー研を支える3つのボランティア

シニアリーダークラブ ～SL～

主に小学5年生・中学生のときにリー研を経験した、町内在住の高校生。企画（テーマ・活動内容の決定）や当日の運営を担う。研修中は常に前に立つ、小中学生の頼れるお兄さん・お姉さん的存在。

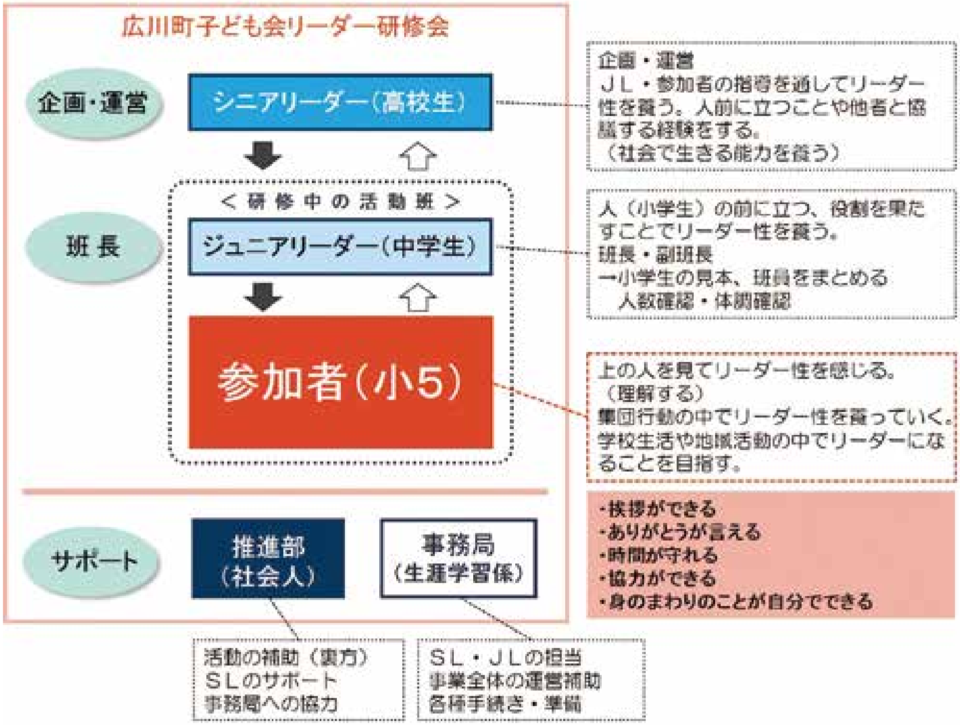
ジュニアリーダークラブ ～JL～

町内在住の中学生。活動班の班長・副班長であり、班員（小学生）をまとめる重要な役割を担う。

推進部会

社会人の有志で構成された、広川町青少年育成町民会議の専門部会の一つ。活動全体の統括（キャプテン）や補助、SL・JLのサポートを担う。

リー研のほか、親子ふれあいナイトハイキングの運営や町行事の補助なども行っている。



リーダー研修におけるそれぞれの役割・目的

リー研は「キャンプ」ではなく「研修」

約100人が参加するリー研のメーンは小学生。親元を離れて集団で行動し、JLやSLの立ち振る舞いを見ることで、社会性や協調性、自律心、リーダー性を養う。

一方JLやSLは、小学生の前に立つという役割の中で自らを省み、責任感やリーダー性を養う。

1日目

▲スポレク

▲野外炊飯

▲ミニゲーム大会

2日目

▲海水浴

▲クラフト活動

▲キャンプファイヤー

3日目

▲海水浴

▲感謝の手紙を書こう

▲解団式

各活動にも目的が！

3日間の活動内容は、SLを中心に決定する。今回のリー研では、各活動の目的を重視して、SLが案を出し合った。

例えば1日目のスポレクや野外炊飯、ミニゲーム大会は、すべて班ごとに活動することで、少しでも早く緊張を解いて楽しんでほしいとの思いが込められている。3日目の親への感謝の手紙も、何気なく過ごしている日常がいかに尊いものなのか、周囲への「愛」を改めて感じてほしいとの思いが込められて行われた。

卒部式

リー研は解団式の後、JL・SLの卒部式を行っている。

半年前から会議や準備を重ねてきたSL。推進部や事務局の本気の指導の下、参加者の命を預かる重圧に震えながら小学生の前に立つこともあった。研修中も全身全霊で臨み、そして最後の卒部式で涙を流す。達成感や安堵感など、さまざまな感情があふれたものだろう。

涙するのはSLだけでない。その場にいる大人も涙する。自分の子どもでもない、家族でもない、中には年に数回しか顔を合わせない人も涙する光景は、ともにリー研という一つの事業を成し遂げたメンバーにとって、当たり前のものなのである。

▲３年生からのコメント

▲卒業証書授与

リー研を終えて

▲シニアリーダークラブ部長
田村萌香さん

SLでの経験はすべてが新鮮で、学校生活にはない、責任感や達成感を感じることができるものばかりでした。

人前に立つことが苦手だった私ですが、部長として小学生に指示を出したり、推進部の皆さんに企画を提案したり、ときには指導を受けたりするなかで、自信が持てるようになりました。今後社会で仕事をするためのいい経験ができたと考えています。

SLのおかげでほかとは少し違う、楽しい高校生活を過ごすことができました！

JL・SL募集中!!

町内在住の中学生・高校生対象。リー研や広川まつりなどの地域活動へ参加し、自分たちも成長しましょう！

問教育委員会事務局
生涯学習係（担当：野上）
☎0943・32・0093